

Japan Miniday 車輛自己申告書

開催場所 筑波サーキット 開催日時 年 4 月 29日

参加競技 クラス

エントリー名 (チーム名)

車輛メーカー 車名

年式 排気量 CC

使用タイヤ

ゼッケン	事務局	希望

対象(チェック項目)	✓	備考	対象(チェック項目)	✓	備考
エンジン系			サスペンション系		
エンジンブロック (型式) 変更			サスペンションFスプリング変更		
エンジン換装		異なる形式エンジン	サスペンションRスプリング変更		
ヘッド変更 (ポート加工含む)			サスペンションアーム変更		材質/形状等
コンピュータ (ROM) 変更			サスペンション型式変更		型式/数量
カムシャフト変更			ストラットタワーバー		ロアバー、トランプバー等も含む
コンロッド変更			ストラット取付け位置変更/強化		ストラット取付け位置補強、可変性等
ハイカム装着			ダンパー銘柄変更		
過給器取り付け			ダンパー数量変更		
エンジン形式			ダンパー型式変更		
気筒		ボア mm/ストローク mm	スタビライザー追加		
その他			スタビライザー径変更		
吸排気系			タイヤ系		
キャブ・インジェクション			アーム形状変更		スプリング形式変更
インジェクタ数量変更			キャンバー・キャスト調整機構の追加		
キャブ数量変更			タイヤ系		
キャブ口径、銘柄変更			ホイール径変更		
6連スロットル			ホイール幅変更		
ホットワイヤー			スペーサー		
エアクリーナー変更/取り外し			タイヤサイズ トレッド幅変更		
インテークマニホールド変更			タイヤサイズ 径変更		
エキゾーストマニホールド変更			ラジアルタイヤ装着		
マフラー変更A		車検対応	Sタイヤ装着		
マフラー変更B		車検非対応	スリックタイヤ装着		
点火系			ボディ系		
フルトラ/CDI等点火系変更			ダッシュボード/内装変更		取り外し等
ツインプラグ化			シート変更		ドライバーズシート以外のシートの取り外し
プラグコード			ステアリングホイール変更		エアバックを取り外すことが望ましい
冷却系			ボディ加工		
ラジエーター変更 (材質/形状等)			ステアリングギア比変更		
オイルクーラー追加			エアロパーツA		車検対応
駆動系			ボディ加工		
クラッチ変更 (強化/多板化等)			ボディ加工		冷却等の為の穴開け等
ミッション 段数変更		5速→6速、4速→5速	ボディ加工		大規模なサイズ変更
ミッション レシオ変更			ボディ材質変更		
ミッション 変速方法変更		AT→MT、シーケンシャル化等	オーバーフェンダー		
デファレンシャルギア ギア比変更			アクリルウィンドウ化		変更箇所/
デファレンシャルギア 変更		LSD/ノンスリ化	ピロウボール		
制動系			安全装備		
ブレーキ型式変更		ドラム→ディスク	ロールケージ		
ブレーキ型式変更			ロールケージ (後付け)		Egルーム、トランクルームへの貫通
ブレーキ容量変更			エアバッグ取り外し		
ブレーキパッド変更			キルスイッチ装着		
ベンチレーテッド化			消火装備		
ブレーキローター変更			牽引フック (前後)		
ブレーキキャリパー変更			キャッチタンク取り付け		
			安全タンク設置		容量/

● 参加申込用紙と一緒に必ず提出してください。 ジャパン・ミニディ大会実行委員会

100マイル耐久レース

サーキットの入場、駐車について

- ◆ 車輛通行証は、サーキットへの入場証になっています。必ず入場前に、フロントウィンドウに貼り付けてください。
(サポートカーやトランスポーター用の駐車券も、必ず入場前に、フロントウィンドウに貼り付けてください。)
- ◆ 車輛通行証は競技車輛1枚、サポートカー／トランスポーター駐車券については100マイル耐久で2枚配布いたします。

パドックパスと駐車位置

- ◆ 競技車輛の駐車位置、および、待機位置については、エントリー種目ごとのパドック表と当日のスタッフの誘導に従ってください。
- ◆ サポートカー、トランスポーターの駐車については、北ゲート駐車場を使用して下さい。

その他

- ◆ 北ゲート駐車場でトランスポーターより競技車師の降車を含め、エンジンへの点火をご遠慮ください。周辺住民の方への騒音公害となるばかりでなく、苦情により、イベントの開催そのものが危ぶまれます。また、遠方よりお越しの方が、受付時間まで仮眠をされている場合もありますので、ご理解とご協力をお願いします。
- ◆ サーキットでは、午前8:00より走行可能という指示となっています。それ以前のエンジンの空吹かしやパドック、外周路、ゲート前スペースなどにおける走行や空吹かしを行わないようにしてください。

受付及び抽選

- ◆ エントラントは指定された時間内に、参加受理証をお持ちになって、事務局テントで受付を済ませてください。(時間は別紙タイムスケジュールで確認してください) 受付時にグリッドの抽選を行いません。
- ◆ 参加申込受付後、お送りする書類一式の中に、参加受理証が入っています。忘れずにお持ちください。

自動計測器 (トランスポンダー)

- ◆ 計測器は、受付時にお渡しします。必ずお受け取りください。
- ◆ 競技終了後は、すみやかに計測器の返却をお願いします。また、決勝終了後15分以内の返却にご協力をお願いします。
- ◆ 万一、計測器を破損、紛失してしまった場合は実費を頂く事になりますのでお気をつけください。
- ◆ 事故などにより、ドライバー本人が返却できない場合は、メカニックやサポートクルーが責任を持って返却するようにしてください。

車両検査について

- ◆ 車両検査はタイムスケジュールにそって車検場、または、出向車検にて行ないます。検査を受けて合格しないと走行ができません。

燃料関係について

- ◆ ガソリンの初期搭載量は全車40ℓ以下です。

レギュレーション

◆ チェッカーフラッグ

2クラスが混走となるため、1300Tクラスのトップがゴールした時点でチェッカーフラッグが振られ終了となります。

◆ ハンディーキャップ

ピットインした車両のタイヤが完全にストップしエンジンがストップしたところから計測開始とする。

◆ スタート

変則ルマンスタート

◆ グリッド決め

抽選

◆ ハンディーキャップクラス

* 998、1000N、1000LT (ラップタイムを85秒で計算)

ピットイン回数 2回 (必ず1回の給油が必要)

※998、1000Nクラスも給油が必要のためピット要員がドライバーを含む3名は必要となります。十分ガソリン残量が有っても1回の給油(1リットルでも入れる)が必要。

※給油以外のドライバー交代はドライバー交代でスタート可。

※ピットストップハンデ 給油の場合3分間停止。

- ・次のドライバーは給油後安全を確認してから乗車可。
- ・給油、ドライバー交換が3分以内に終了してもかならず3分間は停車しなくてはならない(ピットストップしドライバー下車後、給油可、給油後ドライバー乗車可)。
- ・給油中は他の作業はできない。(オイルチェック、タイヤ空気圧チェック、窓拭き等は給油後作業可)

* 1000T、1300N (ラップタイム77秒で計算)

ピットイン回数 3回 (必ず1回の給油が必要) 十分ガソリン残量が有っても給油が必要

※給油以外のドライバー交代は2分間停止。

※ピットストップハンデ 給油の場合3分間停止。

(給油の場合ピットストップしドライバー下車後、給油可、給油後ドライバー乗車可)

- ・給油、ドライバー交換が3分以内に終了してもかならず3分間は停車しなくてはならない。
- ・次のドライバーは給油後安全を確認してから乗車可(ピットストップしドライバー下車後、給油可、給油後ドライバー乗車可)
- ・給油中は他の作業はできない。(オイルチェック、タイヤ空気圧チェック、窓拭き等は給油後作業可)

* 1300LT (ラップタイム75秒で計算)

ピットイン回数 4回 (必ず1回の給油が必要) 十分ガソリン残量が有っても給油が必要

ピットストップハンデ 2分40秒

※給油以外のドライバー交代は2分40秒間停止。

※ピットストップハンデ 給油の場合3分間停止。

(ピットストップしドライバー下車後、給油可、給油後ドライバー乗車可)

※給油、ドライバー交換が3分以内に終了してもかならず3分間は停車しなくてはならない。

(ピットストップしドライバー下車後、給油可、給油後ドライバー乗車可)

- ・次のドライバーは給油後安全を確認してから乗車可。
- ・給油中は他の作業はできない(オイルチェック、タイヤ空気圧チェック、窓拭き等は給油後作業可)

◆ 1300T・1300open クラス

*1300T (排気量1300cc以内の車両)

*1300open (排気量1300ccを超える車両)

ピットイン回数 1300Tクラス 2回、 1300openクラス 3回

ピットストップハンデ 無し (給油時は3分間停止)

※必ず1回の給油が必要。

※給油の場合ピットストップしドライバー下車後、給油可、給油後ドライバー乗車可。

・次のドライバーは給油後安全を確認してから乗車可。

・給油、ドライバー交換が3分以内に終了してもかならず3分間は停車しなくてはならない。

(ピットストップしドライバー下車後、給油可、給油後ドライバー乗車可)

・給油中は他の作業はできない。(オイルチェック、タイヤ空気圧チェック、窓拭き等は給油後作業可)

◆ ドライバー交代

① ドライバー交代時はエンジンをストップしなくてはならない。

② 1名で参加の場合はエンジンをストップ→下車→乗車 (ハンデ、給油がある場合は3分間の停車) →エンジンをスタート→スタート

※ピットクルーは他に2名必要となります。

③ ピットストップ中給油が有る場合は、エンジンをストップ→ドライバー下車→給油→次のドライバー乗車→ハンデタイム 停車後→エンジンをスタート→スタート

④ ドライバー交代時ピットレーンに出られる人数は交代するドライバーを含む5名とする。

⑤ ドライバーは、最低15分以上ドライブしなくてはならない、最大40分以内とする。

◆ 給油

① アースをとるブースターコードが必要。

② 給油時用の消火器 (1, 5キロ以上) が必要。

③ 給油時ピットレーンに作業できる人数は5名 (交代し室内にいるドライバーはを含む)、給油する人、消火器を持つ人、タイムキーパー等。

④ ノーマルタンクの場合は給油後しっかり給油口をテーピングする。

⑤ 給油回数は自由。ただし、ドライバー交代以外での給油は別途3分のピットストップが必要となります。(1回の給油量は20リットル以下)

⑥ 給油担当及び消火器を持つ人は耐火スーツ、耐火グローブ、フェイスマスクかフルフェイスヘルメットの装着が必要。

⑦ 給油に使用する携行缶はJAF規定に順ずるものとする。(安全レバー付き)

⑧ 給油時ガソリン漏れを起こした場合は、速やかにふき取ってください。

検査の為に準備箇所

◆ ライト、レンズ類へのテーピング (ライトリムまでテープをかける)、バッテリーのプラス端子、ブレーキシリンダーオイルケース、クラッチオイルケース、ホイールのバルンサーなどにも、テーピングしてください。ホイールバルンサーはガムテープやアルミテープを使用し、ライトやレンズ類へのテーピングは透明の幅の広いビニールテープを使用してください。テーピングのためのビニールテープやガムテープなどは、事務局でご用意しません。

◆ 一部車輛において、ヘッドライトなどが強化プラスチックなどで作られていますので、ガラスでなくとも必ずテーピングをしてください。テールレンズも同様です。これは飛散防止の意味があります。他のイベントではプラスチック類へのテーピングを省略しているから、とテーピングを拒否される方がいますが、その場合、出走を認めるこ

とができません。

- ◆ ゼッケンは左右のドアと、ボンネット、リア（小さくても可）に、ビニールテープで4辺を確実に貼付けてください。他のゼッケンが貼付けてある場合は、見えないようにカバーをしてください。
- ◆ 走行が雨天の場合はライトオンの指示が出ます。ライト類へのテーピングを、透明のビニールテープにする必要があります。

ゼッケン登録について

- ◆ 先着順にて各クラス共、希望のゼッケンナンバーを登録することができます。
- ◆ 希望ゼッケンナンバー、チーム名がすでに登録されている場合は、他のナンバー、チーム名へ変更して頂くことがあります。
- ◆ ジャパンミニディ以外のサーキットイベントなどで、長年使用されているゼッケンナンバーやチーム名をお持ちの場合でも、ジャパンミニディの中では、あくまでも先着登録となりますので、ご了承ください。
- ◆ 混走耐久の場合、登録ゼッケンはミニのチームを優先とさせていただきます。混走などで登録ゼッケンが使用できない場合があります。その場合は事務局でゼッケンをご用意いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

ゼッケン製作について

- ◆ 登録ゼッケンはご自身での制作となります。事務局では用意しませんので、ご注意ください。
- ◆ ゼッケン制作をする場合は、縦50センチ以上、横50センチ以上の白色のゼッケンサークル内に納め、その中で可読性を考慮した上で、最大の大きさの算数字を用意してください。算数字の太さは3センチ以上でお願いします。

ドライバーの心得

- ◆ ドライバースブリーフィングには、登録ドライバー／チーム監督が必ず出席してください。ブリーフィングにはサーキットを安全に走る上で、絶対必要な項目が含まれます。不参加の場合、出走が認められない場合があります。また、当日のみの特別ルールなどがある場合も、ブリーフィングで説明します。
- ◆ 体調が優れないなどの場合は無理をせず、リタイヤをする勇気を持つことが大切です。
- ◆ ドライバー／チーム監督はメカニックやサポートクルー、応援の方など、自己のクルーの行動に責任を持ち、危険な行動や危険な場所に立ち入らないよう、指導してください。また、関係者全てにルールが適用されますので、サーキットへはじめておいでになる応援の方などへもルールを徹底指導する必要があります。自己の仲間のルール違反はチームの責任となり、チームにペナルティ、または失格などの処分が課せられます。
- ◆ ドライバー／チーム監督はフラッグの色と意味を、記憶、理解している事が必要です。フラッグの色と意味を記憶、理解されていない方の走行はお受けすることができません。
- ◆ ドライバーは、走行中にアクシデントなどが発生した状況などを想定し、対応方法や脱出方法などをイメージトレーニングするよう心掛けてください。
- ◆ ご自身以外のチームの方や関係者の方が間違った行動などをとっていた場合、何がいけないのかを教えてあげましょう。また、ルール違反を発見した場合は速やかにオフィシャル、または、開催事務局へ報告をしてください。危険行為なども同様に報告をお願いします。

服装

- ◆ ドライバーの服装は、2レイヤー以上のレーシングスーツ、グローブ、シューズを強く推奨します。
- ◆ ノーマックスなどの耐火性のアンダーウェアの着用を強く推奨します。ジェット型ヘルメットを使用の方はフェイスマスク

の着用が望ましい。

- ◆ 筑波サーキットにおいては、練習会以外の走行時はレーシングスーツの着用が必要です。シングルレイヤーでも可。

ドライバー数

- ◆ ドライバー交代時はエンジンを完全に停止させてください。ドライバー交代時、ピットエリアに出てマド拭き、エアージェックなどが行なえる作業員の数は、交替するドライバーも含め5名までです。
登録できる人数はイベントごとの案内で、確認してください。

乗車時間

- ◆ ドライバーは、最低15分以上ドライブしなくてはならない。最大40分以内とする。

出走前説明の会場について（ドライバーズブリーフィング）

- ◆ ブリーフィングルーム、または、ブリーフィング会場にて行ないます。ドライバー、チーム監督は必ず出席をしてください。

グリッド及びスタートについて

- ◆ スタートグリッドは、受付時に抽選で決定。
- ◆ グリッド整列時には、ご自分のチームの車輛誘導にご協力ください。
- ◆ スタート方法は、セミ・マン式で行います。

セミ・マン式スタート方法例

- ◆ ドライバーはサインガード側に整列された車輛内に待機をし、コース反対側にはサポートクルーが待機します。その際、サポートクルーはドライバーの右側のレーシンググローブを持って待機せず。日章旗、または、グリーンフラッグが振り降ろされる、または、ブルーシグナル点灯でスタートとなり、サポートクルーは車輛へ走り、待機しているドライバーへレーシンググローブを渡します。ドライバーは渡されたグローブを完全に装着した後、エンジンをスタートさせます。サポートクルーはすみやかに、サインガード内へ退避してください。

ピットレーン制限速度について

- ◆ ピットレーンを走行する競技車輛の制限速度は、筑波サーキットは40Km/h以下とします。速度超過の場合は、ペナルティの対象になります。

ピットレーン進入について

- ◆ ピットレーンへの進入は右ウィンカーを点滅させ、ピットレーン入口より進入します。本コースからのイエローラインカットはペナルティの対象になります。
- ◆ ピットレーンは一方通行です。特例を除き、バックをすることができません。バックギアを使用し、ピットレーンを逆走した場合、そのチームは失格となります。
- ◆ 走行路は、1番コース寄りとします。ピットゾーンへの進入の場合、ピット最近部からピットゾーンへ向かってください。
- ◆ ピットレーン・サインガード付近では、安全のため、手持ちの傘などを使用することはできません。

ピットアウトについて

- ◆ ピットアウトの際は、ピットロードエンドにいるオフィシャルに従ってください。ピットアウトして、コースへ進入した時の第1コーナーは、必ずインベタで走行してください。
- ◆ ピットアウト時、特例をのぞき押しがけはできません。
- ◆ エンジンが始動しない場合、押しがけはできません。バッテリーなどを用意し、ジャンプコード接続によって始動させてください。

ピットガレージ内について

- ◆ ピットでの作業において、エアージャッキ、エアーインパクトレンチ、電動ジャッキ、電動インパクトレンチなどの自動工具の使用はできません。全て、マニュアルでの作業としてください。タイヤへのエアー注入、ホイールを外すためなどのインパクトレンチの使用は認めます。（ホイール装着などはマニュアル作業とします）
- ◆ ピットは共有です。譲り合いながら、使用してください。
- ◆ ピット内において、高音、高熱を発生する機器の使用は禁止します。
- ◆ ピット内は火気厳禁です。喫煙などは灰皿が設置されている、喫煙スペースをお願いします。
- ◆ ピット内に搬入した競技車輛はキーをつけたまま、ドアをロックしないでください。

ピット前、ピットガレージ、ピット裏作業について

- ◆ スペアタイヤの本数制限はありません。
- ◆ 消耗品についても交換自由。他車に注意し、安全を確保した上で作業を行なってください。
- ◆ ライトのバルブ、ジェット、プラグなどのスペアパーツの用意をお勧めします。ウェスやキャブクリーナーなどがあると便利です。

サインガードについて

- ◆ サインガード上に登ることはできません。
- ◆ サインガード、および、サインガード前のガードレールなどに腰をかけることはできません。
- ◆ サインガード、ピットレーンでは安全のため、手に持つ傘などを使用することはできません。
- ◆ サインガードにおいて、テレビモニター、パソコン、ごく省電力の照明器具以外の電器製品の使用はできません。
- ◆ サインガードエリアは火気厳禁です。食事はピットガレージ以外で。飲みものは特に認めます。
- ◆ サインガードへはお子さんの単独、ペット、ピンヒールや7cm以上のハイヒール、サンダルなどを履かれた方の立ち入りを禁止します。
- ◆ ピットレーンを横断する際は必ず、左右の安全確認を十分に行なってください。安全確認をおこたった場合や、危険行動と判断した場合はチームに対してペナルティを課せます。

パドックについて

- ◆ パドック内において、車輛テスト（ブレーキテストやウォームアップなど）は絶対に行なわないでください。全ての4輪車輛、2輪車輛は最徐行を義務とします。
- ◆ お子さんの単独での乗り物の使用は全面禁止です（キックボードやローラーシューズなども含む）。
- ◆ 大人が乗物（自転車やスクーターなど）を使用する場合、最徐行を義務とします。
- ◆ パドック内は全面火気厳禁です。喫煙は灰皿が設置してある喫煙スペースをお願いします。お料理などを行ないたい場合は、消費電力を考慮した上で、ホットプレートや電磁調理器をご使用ください。電熱器、カセットコンロ、ガスバーナー、バーベキューなどの炭火、裸火は一切使えません。

- ◆ パドック、ピットを含む施設内において、お子さんの手は保護者の方が絶対に離さないようにしてください。お子さんの行動に関しての指導、責任管理は保護者の方の義務とします。パドック、ピットは競技車輛が分刻みで移動をくり返します。大変危険な場所であるということを認識してください。また、お子さんに何が危険であるかを教えてあげてください。

無線機について

- ◆ 無線機の使用は可能です。ただし、無線機の使用は無線免許保持者のみとし、無線使用と周波数を事務局へ必ず届け出てください。他チームと周波数が重なった場合は、周波数の変更をお願いする場合があります。

ゴール表彰について

- ◆ フラッグタワーより、チェッカーフラッグを振動表示します。チェッカー後は全ポストで旗を静止表示します。スピードを落として、ピットインしてください。チェッカーを受けた後は追い抜きは禁止です。
- ◆ ダブルチェッカーは失格になりますので、くれぐれも気をつけてください。また、オフィシャルの誘導がない場合、コースをショートカットする事はできません。
- ◆ 表彰は、各クラスともメインスタンド前コース上で行います。

ペナルティについて（主催者の注意により、実行されない場合もあります。）

- ◆ 走行中、オイルの吹き出しなどにより、コースを汚すなど、競技に影響を与えた場合。
- ◆ 車輛異常、コースアウト、接触など、競技の中断をはじめ、競技に影響を与えた場合。
- ◆ フラッグ無視、または気がつかなかった場合、ダブルチェッカーを受けた場合。
- ◆ 危険走行とオフィシャルが判断したドライバーもペナルティの対象となる場合があります。
- ◆ 該当チームのピットクルー、または、応援の方などによるルール違反が発覚した場合。
- ◆ その他、本規定書に設定されたものに違反した場合適用します。
- ◆ ペナルティを受けた方は、表彰式が終わるまで帰ることができません。

その他注意事項について

- ◆ その他の注意事項がある場合は、イベントごとのインフォメーション、または受理証で確認してください。
- ◆ タイムスケジュールはイベントごとのインフォメーション、または受理証で確認してください。
- ◆ スプリントについての約束は別紙になりますので、よくお読みになってください。
- ◆ 車輛より降ろした荷物などは、各自で管理をしてください。盗難、紛失の場合、事務局、および、オフィシャルでは責任を負うことができません。イベント開催中に、盗難や事故などが発生した場合は、すみやかに事務局へ連絡をしてください。
- ◆ パドック内やコース上における人身事故、物損事故について、事務局、オフィシャルでは責任を負うことができません。
- ◆ パドックやピットレーンには、エントラントの応援の方や、小さなお子さんもいらっしゃいます。ピットレーンは制限速度を厳守し、パドックでは最徐行が義務であると心がけてください。
- ◆ お帰りの際はゼッケンを外し、ゴミなどはゴミ箱へ捨てるよう、ご協力をお願いします。
- ◆ ガードレールなどサーキットの設備に損害を与えてしまった場合、実費をいただくことになりますので気をつけください。
- ◆ ご自宅に帰るまでがイベントです。安全運転でお帰りください。